

# 社会福祉法人日本聴導犬協会 2016年(平成28年)度事業報告書

2016(平成28)年4月1日～2017(平成29)年3月31日まで

事業報告書	
社会福祉法人事業	
1	<p>I 聴導犬・介助犬事業                      2016年度認定者数：聴導犬4チーム                      (※参考：2015年度認定試験合格：聴導犬2チーム介助犬1チーム)</p> <p>① 2頭目の聴導犬➡ ご夫婦                      ② 聴導犬➡ 男性                      ③ 聴導犬➡ 女性                      ④ 介助犬2名 →→ 2017年度への移行</p> <p>II インターネット関連 実施                      ① インターネットの高度な活用を予定➡顧客へのアピールのためプロボノ要請済み➡ 未定                      ・インターネット関連の勉強会にスタッフが参加➡顧客へのアピールなどに活用を予定しております                      ② 独自の募金の展開予定➡ Loppi での支援実現                      ③ 新募金箱500個 作成➡ 引退犬および老犬の医療費「たかちゃん」基金を募集                      ④ HPのリニューアル3➡ 12月アップ済み                      ⑤ 2016年度に研修費募る➡ 他の助成金に申請</p> <p>III 各事務所：                      ① 東京事務所➡ 支部設置用書類を提出予定。                      ② 関西事務所➡ 以下の目的のために、支部化を予定のため                      実施① 施設図面および立体を作成済み                      実施② 地元ライオンズクラブへの協力依頼済み                      実施③ 支部建設準備金の呼びかけを開始                      実施④ 地元小学校でのデモを実施</p> <p>現在：支部の施設準備金として約3000万円を積み立てました。                      ③ 本部：(福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」                      訓練施設の充実として、                      実施① 赤い羽根共同募金の支援により、エントランス部分のインタロッキング舗装終了</p> <p>IV 聴導犬・介助犬希望者：                      2016年度 34件の問い合わせ、相談・面接28名。うち、4名が受験合格。6名が補助犬認定試験受験予定。                      8名が継続訓練中。(※ 参考までに                      2014年度 30件の問い合わせ中、相談・面接26名のうち2チーム合格                      2015年度 40件の問い合わせ中、相談・面接29名のうち3チーム合格。                      ・全国3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」で年間40名前後の問い合わせなどを受け、そのうちの                      10~15%の認定受験を行っていく予定</p>
2	<p>◆収支：一般寄付を増やすために、SNSおよびLoppi(ローソン&amp;ミニストップ)を活用したイベントへの                      お誘いなどをこまめに行う予定です。引き続き、関係諸会に向けて資料を送付予定                      ・営業活動：カードポイントに関連する企業への営業                      2016年度(平成28年度)収支概略                      (ア)2016年度総計約6800万円(うち、遺贈約1500万円。助成金413万円含む)</p>

	<p>(イ) 社会福祉法人 約5850 万円  (ウ) 公益事業約850 万円  ●2016年 大口寄付: 5件。  ●2017年度の予算 7800 万円。</p>
3	<p>◆候補犬:協会所属犬常に 40 頭 前後で管理中  ①「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家のみなさまから合計 18 カ所から構築  ② 新家族 (補助犬にならない候補犬の里親):  現在の所属犬 39 頭 (役割がダブる子もいます) 中、  ※新家族決定5頭  ※聴導犬候補犬3頭・介助犬候補犬1頭ユーザー決定  ※新規候補犬 10 頭を選択  ③ より良い候補犬繁殖は、中断。</p>
	<b>公益事業</b>
4	<p>◆講演会:予想 講演会総数 199(来所デモ 52)回  ① バスツアー(2016 年度 52 件)のための資料の充実、魅力的なチャリティグッズの作成を実施→ 例: 地元観光協会様とのコラボ  ② 教育関係:大学、専門学校などの講義を増やす  ③ 獣医師関連でのイベント参加を増やしたい</p>
5	<p>日本聴導犬・介助犬訓練士学院  第8期生 4名のうち残念ながらスタッフ採用者はなしでした。第9期生は6名が入学されました</p>
	<b>補助犬認定に関して</b>
6	<p>認定試験の実施:認定4名  ・自宅での試験(体調の変化が著しい介助犬希望の場合など)実施  ・兵庫県での審査および認定試験を担当予定</p>
7	<p>・他団体からの認定試験→ なし</p>
8	<p>・日本聴導犬協会の認定試験は年2回実施</p>
	<b>候補犬の確保</b>
9	<p>「聴導犬候補犬ネットワーク」へのご協力をお願いしている団体  全国 18 カ所:適性のある候補犬がいる場合は連絡をもらい、候補犬を探させていただくネットワーク。今後も、良心的な保護団体からの協力を得ていく予定(ネットワークの活性化のために WAM への申請予定)</p>
10	<p>繁殖計画 専門家の手助けがあるまでは休止</p>
11	<p>新家族:  ・2016 年度決定 5 頭(鑑度)  ・新家族候補 6 頭</p>
12	<p>関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定</p>
	<b>聴導犬・介助犬を増やすための普及活動</b>
13	<p>普及:  ・各地の聴力情報センターでの広報活動協力をお願い⇒ 名古屋での広報の可能性  ・「聴導犬・介助犬なんでも相談室」定例開催</p>
14	<p>総合プロデュース&amp;事務局:第2回 「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 東京(学院の広報も兼ねて)・・・2017年1月20日21日第2回 2016「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 東京実施。2日間で延べ331(含む補助犬ユーザー50)名様が参加。朝日新聞、福祉新聞、フジテレビにて紹介</p>

15	<b>V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</b> ① 協働：日本聴導犬協会の全国での『聴導犬ふきゅうイベント』にメンバー1名は同行 ② 長野、東京、大阪『聴導犬・介助犬なんでも相談会』でメンバーが希望者の相談を行う ③ ユーザーが自主的に地元でのイベントを企画、普及活動を計画。摂津まるごと。大阪みみの日など。個々のユーザーから協力も活発にしたい
16	<b>VI: インターネットの活用</b> ① Facebook「日本聴導犬協会」（いいね 22000）と「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の普及活動を実施。「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集ホームページを更新。2016年12月アップ
<b>助成金・補助金</b>	
17	2016年度は申請2件（予定4件）申請
<b>教育への寄与</b>	
18	① 日本聴導犬・介助犬訓練士学院 第9期生：3名入学。特別コースに介助犬希望者3名入学 ② 第8期生スタッフへの採用なし（定員5名うち4名入学）には奨学金授与2名。 ③ 補助犬に関する授業：前年度どおりに3大学や専門学校での授業を実施 ④ 職場体験（12名）&研修生（6名）。受入れ。積極的に実施
19	関西事務所での営業：地元LC様による事務所近辺の学校への普及啓発活動の説明実施。 ① 地元小学校でのデモ実施
<b>公益事業</b>	
20	講演会・研修会・デモンストレーション ・2016年度 255回中（53回バスツアー）実施 （※参考2015年度は199回うちバスツアー50回）
21	「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」 ① 第8期生（定員5名）4名入学。 ② 海外研修：2016年5月に海外研修「英国聴導犬協会」「ADI総会 in プラハ」を実施 ③ スタッフ採用は、残念ながら0名。 ④ 第9期生（定員5名）3名入学。介助犬希望者3名が特別コースに入学
22	Pro-Dog School（日本聴導犬協会による地域社会貢献活動）：例年30～40組（100名）前後の地元愛犬家を中心とする受講者が参加し、次の愛犬家を育てるためのインストラクターを担ってくださっています。行政による監査からも、この地元愛犬家を育てる良循環はとて高く評価されています。
<b>パブリシティ</b>	
23	① SNSでの展開：Facebookの他、スタッフ3名もTwitterでの参加をし、SNSを展開 ② 新図書：未定 ③ 20周年記念 冊子作成中
<b>事務所の運営： 施設関連準備金として約3000万円を積み立</b>	
24	I：関西事務所では、関西でのデモや研修会の際に利用。地元LC様による教育委員会や聴導犬支援へのお願いを行っていただいております。 ◆2016年 実施報告 ① 関西方面ユーザーの訓練とアフターケア ② 関西方面ユーザー1名 自宅指導のために利用 ③ 希望者の面接 ④ 地元LC様の式典などに参加 ⑤ 兵庫県での学校関係でのデモを実施  支部化について： ⑥ 関西事務所→ 2018～20年までに施設設置

	<p>支部建設に向けて準備金の呼びかけを開始。</p> <p>活性化：地元のLC様が地元の小学校などへの広報や支援の呼びかけを行ってくださっています。また、広報支部長と共に、市長、市役所、他のライオンズクラブ様への表敬訪問を予定</p>
25	<p>II：東京事務所：支部登録の予定。</p> <p>◆2016年 実施報告</p> <p>① 関東方面のユーザー5チーム相談とアフターケア</p> <p>② ユーザー希望者2名自宅指導のために利用</p> <p>③ 希望者10名の面接</p> <p>④ 聴覚障がい者関連普及 啓発事業での使用</p> <p>⑤ 候補犬の社会、訓練</p> <p>・各地の広報支部長のおかげで聴障協と関連構築</p> <p>・関東方面の2名のユーザー訓練を実施する予定</p> <p>・2025年までには、支部を設ける予定</p> <p>・東京事務所→支部化によって、東京および関東地区での希望者の増加</p>